

ニュースレター発行
EWTEC
P.O.Box 5744 Addis Ababa
TEL (011)4431127
FAX (011)4431128

アフリカ諸国対象 地下水モデル セミナー開始

セミナーについて

EWTEC は1998年に
設立され、現在フェーズ
3 (2009-2013)実施中。
定期的に、基礎及びア
ドバンスコースを開催

アフリカ15ヶ国から16人の研修生

研修生 は、次の各国から参加している。

ボツワナ、ガーナ、ケニヤ、レソト、マラウイ、モザンビーク、ナミビア、ナイジェリア、ルワンダ、スーダン、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ、エチオピアからは12人の研修生 が参加。

第4回セミナー

福島大学柴崎直明教授は、日本とアジア地域での代表的な水文地質学者であり地下水モデラーである。柴崎教授によるアディスアベバでの地下水モデルセミナーは今回で4回目である。セミナー会場は Dreamliner Hotel 会議室で8月31日から9月18日まで3週間行われる。

プログラム

3週間のセミナーでは、地下水モデル基礎、SURFERの練習、GIS技術紹介、PMWIN Pro.による地下水モデリング実習を行う。研修生は帯水層定数の推定とモデル入力の方法、モデル構造、初期・境界条件の設定、地下水涵養の推定方法などについて訓練を受ける。モデルの検証と予測はアフリカ各国の地下水盆管理のために不可欠であり、現在最も必要な技術である。



EWTEC マルコス所長による開会挨拶



研修生の質問に答える柴崎教授

柴崎直明教授 (博士)

研修生は、休憩時間
に研修生同志の情報
交換を行っている。
また、履修結果をお
互いに教え合う様子
が見られる。



MoWR と JICA にプロジェクト・ドキュメントを提出

新研修コースとEWTEC施設の拡張

フェーズ3のアウトプット

フェーズ3の目標は “「エ」国における地下水開発・水供給人材育成にかかる中核機関としてのEWTECの機能が確立されること” である。

この目標を達成するための活動は2009年1月に開始された。下記の成果はフェーズ3終了時（2013年）までに発現されることが期待される。

1. 研修の質を持続的に確保するための研修マネジメントシステムが強化される。
2. 研修を通じ、州、県、郡政府、民間、NGOの技術者及びTVETC教員の地下水開発・水供給にかかる技術力が向上する。
3. 研修事業を実施するEWTEC職員（研修講師・コーディネーター）の指導能力が向上する。
4. EWTECの自立的な組織運営能力が強化される。

フェーズ3の全ての活動は、2009年1月から7月の間に実施した調査

及び各機関との討議により “プロジェクト・ドキュメント (P/D)” としてまとめられ、2009年7月に水資源省 (MoWR) と JICA に提出された。

新研修コース

州水資源局、県及びワレダ事務所など公共機関やNGO、コンサルタント会社等を対象に研修ニーズ調査を実施した。ニーズ調査はEWTEC職員が直接現地へ行き、担当者にインタビューして、情報を収集するとともに、研修に対する意見や新たなニーズを集約した。

調査の結果、計画された新コースは以下の10コースである。

1. 物理探査
2. 水質管理
3. 水質化学
4. 井戸リハビリテーション
5. 深井戸掘削技術アドバンスコース

6. ボアホール TVカメラによる井戸診断
7. 掘削機械維持管理アドバンスコース
8. 漏水管理システム
9. コンピュータ設計 (Water CAD, EPANET)
10. 電気機械維持管理アドバンスコース

基礎コース研修は、今後、TVETC(職業訓練校水利学科)でも行われる他、基礎コース、アドバンスコース、新コースには民間の技工や技術者の参加が可能になる。

施設拡張及び機材整備

日本政府はEWTEC施設の拡張についてカウンターパートファンドの使用を承認した。なおすでに、無償資金協力によりEWTECに対して深井戸掘削機、電磁探査機等機材の供与を開始しており、2010年10月開始予定の新コースではこれらの機材が使用される予定である。

